

# ブンタク運行計画の変更案

---

＜H30.4月からの本格運行の移行時に実施＞

# 運行改善の方針

- 4月から本格運行に移行するにあたって、住民アンケート調査（H29.4）で要望の多かった「料金」「運行エリア」に関する運行改善を実施
- その他の要望の多かった改善点のうち、「停留所（箇所と表記）」「便数・時刻の設定」「曜日」の設定については、H29.10より改善後の運行計画で運行中

## アンケート調査結果

（H29.4 実施／回答者57名）

【質問】 ブンタクを多く利用するようになるには、何が変わればよいとお考えですか？（自由回答）

	回答内容	回答数
1	料金を下げてほしい	15
2	行き先の拡大	12
3	便数を増やしてほしい	6
4	バス停は家の近くにほしい・家まで来て（送って）ほしい	6
5	時間設定（例：滞在時間が長い）	3
6	時間設定をなくしてほしい	3
7	曜日を増やしてほしい・曜日を変えてほしい	3
8	サポーターに付いてきてほしい	1
9	運行時間の拡大	1
10	停留所を固有名詞にする	1
—	当分は必要ない（例：もう少し高齢になったら使う）	5
—	今のままでよい	1

今回の見直し

H29.10より  
運行改善実施

【保留】  
通常のタクシーと同じ  
サービスとなるため

サポーターが  
可能な範囲で実施中

【保留】  
タクシー業への影響  
が想定されるため

# ① 料金の引き下げ

## 変更内容

### <収支の試算>

### 試算の前提条件

乗合パターンによって1便あたりの運賃収入が変化するため、下記4パターンで試算

乗合パターン	①	②	③	④
1人乗り	90%	80%	70%	60%
2人乗り	0%	10%	10%	10%
3人乗り	10%	0%	10%	20%
4人乗り	0%	10%	10%	10%
平均乗車人数	1.2人	1.4人	1.6人	1.8人

(参考) 現状の乗合比率

乗合パターン	現状
1人乗り	76%
2人乗り	8%
3人乗り	2%
4人乗り	13%

## ■ 基本料金の引き下げ

・ 650円→500円

## ■ 乗合人数に応じた割引

・ 乗合人数が多いほど、1人あたりの料金が下がる設定にし、乗合へのインセンティブを付与

## 【料金変更(案)】

乗車人数	現在	変更案
1人	650円	→ 500円
2人	650円	→ 400円
3人	650円	→ 300円
4人	650円	→ 200円

※6歳未満は無料、12歳以下は半額、身体障害者手帳・療育手帳・愛カード提示者は50円引き(およそ1割引き)

乗車人数	障がい者愛カード等	12歳以下	6歳未満
1人	450円	250円	無料
2人	350円	200円	無料
3人	250円	150円	無料
4人	150円	100円	無料

		年間の想定経費	収支、赤字の地元負担額の試算							
稼働率 30%	1,460千円 ※便数(12便/日)で計算	乗合パターン					①	②	③	④
		1便あたり運賃収入(円)					540円	560円	600円	640円
		運賃収入(千円)					303	314	337	359
		赤字額(千円)					1,157	1,146	1,123	1,101
		収支率					21%	22%	23%	25%
		赤字額の地元負担割合					15%	14%	13%	13%
		赤字額の地元負担(千円)					169	163	151	140
		市補助(千円)					988	983	972	961
稼働率 20%	973千円 ※便数(12便/日)で計算	乗合パターン					①	②	③	④
		1便あたり運賃収入(円)					540円	560円	600円	640円
		運賃収入(千円)					202	210	225	240
		赤字額(千円)					771	764	749	734
		収支率					21%	22%	23%	25%
		赤字額の地元負担割合					15%	14%	13%	13%
		赤字額の地元負担(千円)					113	109	101	93
		市補助(千円)					659	655	648	641



## ② 運行範囲の拡大＋区域運行への移行

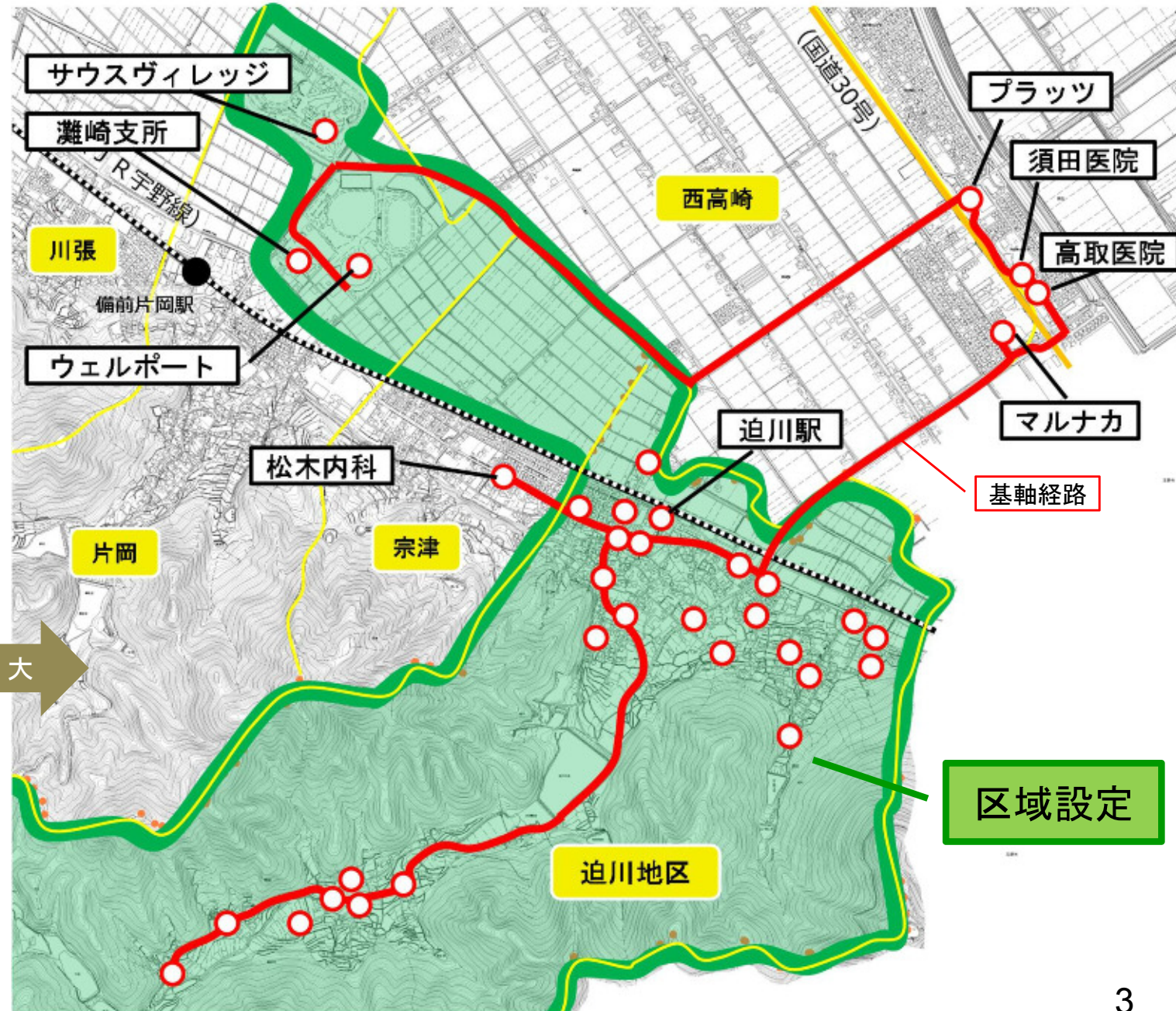
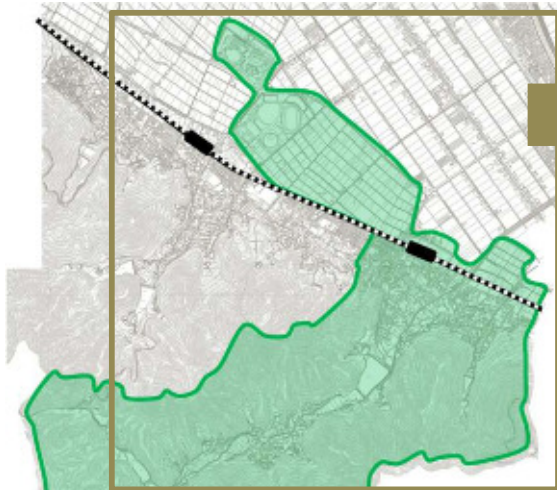
### 変更内容

#### ■ 運行範囲の拡大

- ・住民からの要望が多かったサウスヴィレッジ、灘崎支所、ウェルポートを含む区域を追加（各施設敷地内に乗降ポイント設置）

#### ■ 区域運行への移行

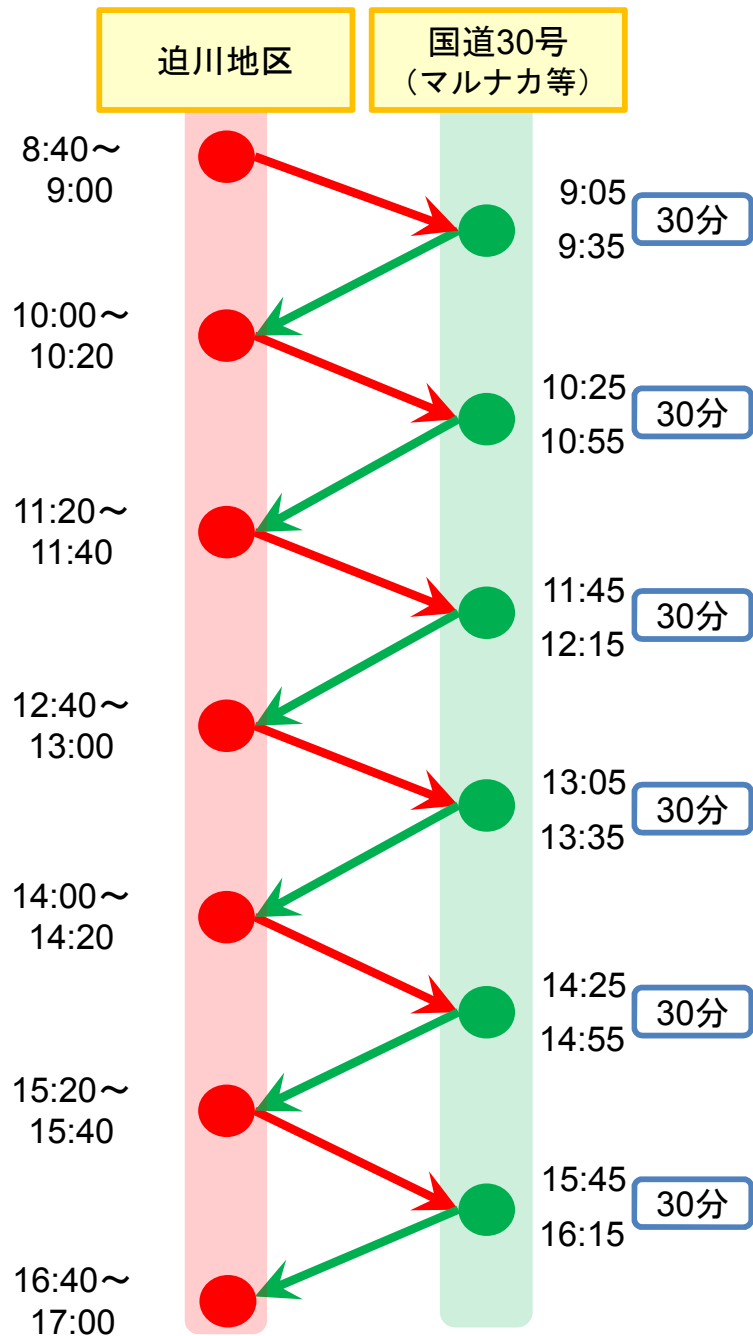
- ・バス停で乗降するこれまでの「路線運行方式」から、指定の区域内であれば自由に乗降可能となる「区域運行方式」に変更
- ・既存の運行ルートを基軸経路とする
- ・自宅まで迎車する運行事業者の負担を軽減するため、既存のバス停及び追加する3つのバス停を乗降ポイントとして活用する
- ・また、利用登録制を導入する



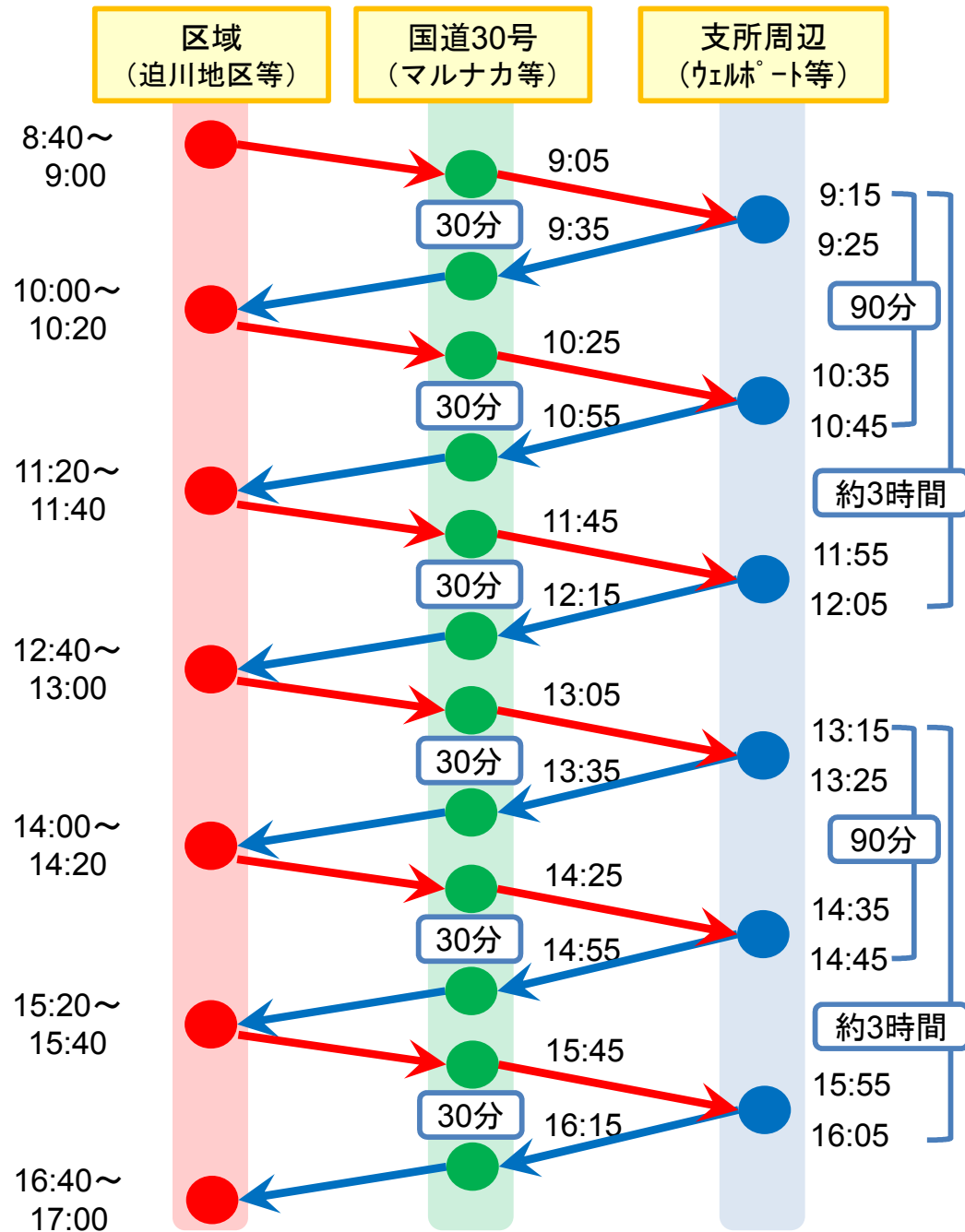
# <運行時刻>

- ・変更後も、今の運行範囲（迫川地区⇄国道30号沿線）の運行時刻は維持
- ・区域3では、プールや大浴場、習い事などの活動が想定されるため、90分または3時間程度の滞在時間を設定

## H29.10の運行改善



## 運行範囲拡大後



## <参考> 運行サービスに関するその他の事項(現状から変更なし)

運行曜日

月 火 水 木 金 土 日

予約受付サービス

- ①予約受付時間は、土曜、休日及び年末年始を含む毎日とする（24時間対応）。
- ②各便の予約は、1便目は前日までとし、その他の便は始点停留所到着時刻の概ね1時間前。  
（予約取り消しの受付時間は、始点停留所到着時刻の概ね30分前）。
- ③車両の定員を超える予約があった場合には、原則として増車を行う。

運行事業者

- ・常用のタクシー車両及び  
関連施設を併用する

	岡山旭交通株式会社
代表者名	代表取締役 大賀 道明
本社所在地	岡山市南区芳泉2-4-26
電話番号	086-805-1566
FAX番号	086-241-5627
設立年月日	平成13年8月8日
資本金(万円)	2,000
従業者数	86人
車両台数	76台
営業所	なし
主な事業内容	一般乗用旅客自動車運送事業 一般貸切旅客自動車運送事業